

## 令和4年度「地域づくり人材育成研修」開催要領

- 1 **開催趣旨**

農山漁村では、少子高齢化が進み、人口減少に合わせ後継者問題や集落の維持そして継続した暮らしそのものが困難な地域が増え続けている。一方、集落を支える市町村や地域づくりの体制については、それをサポートする人材の不足と技術の継承についても深刻な問題となっている。

いま、地域のやる気を引き出し、官民一体となった地域振興を目指すためには、地域住民に寄り添いながら、地域づくりを一貫してコーディネートできる人材の育成と確保が急務である。

本研修では、地域に入る準備段階で必要な視点や段取りの方法、どうすれば地域自らが動き出す確率が高まるかなど、基礎的な部分の研修に加え、山形県内で実際に取り組みされてきた事例を使いながら、地域の現状や住民の意向をくみ取り、その地域のあるべき姿の明確化と、行動が生まれるまでの環境づくりをコーディネートする人材を育成する。
- 2 **主催** 山形県
- 3 **日時**

(1) 村山ブロック 令和4年7月12日(火)から13日(水)  
(2) 最上ブロック 令和4年7月19日(火)から20日(水)  
(3) 置賜ブロック 令和4年8月16日(火)から17日(水)  
(4) 庄内ブロック 令和4年8月1日(月)から2日(火)

※ 研修時間は各ブロックとも初日13:00~17:00、2日目9:00~16:30
- 4 **会場**

(1) 村山ブロック 村山総合支庁 講堂(山形市鉄砲町2-19-68)  
(2) 最上ブロック 新庄土地改良区 2階会議室  
(新庄市金沢字宮ノ次郎4273番3)  
(3) 置賜ブロック 置賜総合支庁 講堂(米沢市金池7丁目1-50)  
(4) 庄内ブロック 山形県土地改良事業団体連合会庄内支所 2階会議室  
(三川町大字横山字袖東4-1)
- 5 **講師** 山形県農村づくりプロデューサー 高橋 信博 氏
- 6 **内容** 地域資源を活用し、地域全体を元気にしていくための支援の在り方を学ぶ。別添資料のとおり。
- 7 **参加費** 無料
- 8 **参集者** (開催会場ごとに15~25人規模)
  - 元気な農村づくり総合支援事業の関係者
  - 県の農林水産普及指導員
  - 地域づくりに関わる県、市町村の担当者
  - 地域おこし協力隊
  - NPO等中間支援組織、土地改良区職員 など
- 9 **その他** 本研修は、「山形県農山漁村地域づくりプランナー認定登録制度」の認定要件である基礎研修及び企画研修(それぞれ1回)に該当するものとする。